

年間指導計画例 中学校3年生基本方針 より高い目標を立て、希望と勇気をもって、人間として生きること喜びを見いだすようになる。

回	25	26	27	28	29	30	31	32
月日	11月16日	11月30日	12月7日	12月14日	12月21日	1月11日	1月18日	1月25日
内容項目	よりよい学校生活、 集団生活の充実	家族愛、家族生活の充実	自然愛護	伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度	国際理解、国際貢献	勤労	遵法精神、公德心	生命の尊さ
主題名	集団生活の向上	家族の一員としての自覚	自然を愛する心	先達から学ぶ郷土愛	世界平和	勤労の尊さ	社会の秩序と規則	生命を考える
ねらい	集団の中で、成員相互が励まし合って、自分に課せられた役割を積極的に果たす意欲を育てる。	家族の一員としての自覚をもち、思いやりをもって接する態度を養う。	自然を愛し、自然とのつながりを見いだして、ともに生きようとする態度を育てる。	郷土意識が希薄になっている今、先人の努力によって築かれ守られてきた郷土の自然や文化への尊敬や感謝の気持ちをはぐくむ。	世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、同じ人間として尊重し合おうとする意欲を育てる。	勤労の意義や尊さを理解し、働くことについての正しい考え方を育て、勤労を通じて社会の発展に尽くそうとする態度を育てる。	遵法や規則の意義を理解し、秩序と規律のある社会の一員として自らに課せられた義務を確実に遂行しようとする態度を育てる。	目標に向かい努力し続ける強い意志と態度を育てる。
教材	受け継がれる思い	背筋をのばして	よみがえれ、日本海	アイアンバンドを知っていますか	海と空 一樫野の人々	たんぼぼ作業所	二通の手紙	誰かのために 偶然性有限性連続性
出典	東京書籍	東京書籍	東京書籍	自作資料世界遺産反射炉	私たちの道徳 文部科学省	東京書籍	私たちの道徳 文部科学省	私たちの道徳 文部科学省
主題構成の理由	集団には、中心的な役割や陰で支える役割がある。生徒の多くは、陰で支える役割が集団向上に貢献しているとは理解していない。しかし、人は自己の存在を模索し、葛藤を抱きつつ、それぞれ役割を果たしていく中で人間の成長を遂げていく。そのため励まし合って、自分に課せられた役割を積極的に果たす意欲を育てる必要がある。よりよい校風づくりに努めようとする意欲や態度を養うため、この主題を設定した。	人間は、過去から受け継がれてきた生命を受けて生きている。自分が今あるのは、父母や祖父母があり、かけがえのない存在として深い愛情をもって育てられてきたからである。主人公を応援する両親の愛情を共感的に捉え、自分と家族との関わりについて改めて振り返って考えさせたいという思い、設定した。	普段あまり自然からの恵みについて、じっくりと考える機会のない生徒たちが、自然とのつながりを理解し、どのように自然と共生するかを考えることにより、かけがえのない自然と人間との関わりを深く認識し、共に生きようとする態度を育てたい。その観点よりこの主題を設定した。	地域社会の環境は、生徒の成長にとって大切なものであるが、過疎化が進み、生徒にとって、必ずしも郷土への愛着は希薄になっている現状が見られる。そこで田方地区の世界遺産を取り上げ、郷土に対する認識を高め、郷土や地域の人々という存在の大きさに気づき、そこに住む喜びと、地域社会の一員としての自覚を持たせたいと考え、この主題を設定した。	震災時に他国から援助を受けたことは記憶に新しい。国際的規模の相互扶助のあり方に思いをはせることにより、世界平和と人類の幸福に貢献することが大切だと感じ、真の国際人としての生き方を考えることが必要である。その観点よりこの主題を設定した。	勤労には、自らの目的を実現させる面と社会を支えている面の両面がある。生徒は、気の合う仲間との仕事はいいが、集団での仕事は厭う。そのため、社会への奉仕に伴う喜び、充実感や満足、生き甲斐のある人生を求めようとする態度を育てたい。その観点よりこの主題を設定した。	生徒たちは誰もが望む社会の実現について大人より純粋に考えることができる。一方で、他に配慮を欠く風潮もあるが、法や決まりについての意義を理解し、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする実践意欲を培うことが必要であり、自他ともによりよき生きようとする態度が大切である。その観点よりこの主題を設定した。	生命は受け継がれ、関わり合って再生できない過去にも未来にも唯一の存在である。自己の生命の尊さを再確認していくことが、卒業まで二ヶ月となった生徒たちに大切だと考え、この主題を設定した。
指導過程と指導方法	(導入) 今までの学校祭と今年の学校祭、違いはあるだろうか？ (展開) ①どのような思いで「任せぞ」「頼んだぞ」といって、グラウンドを去ったのだろうか？ ②集団を支えるために不本意はどのようなことを感じたのだろうか？ (終末) GTの話を聞く。	(導入) 進路希望調査を巡る家庭でのやりとりは (展開) ①千里のやり場のない思いとは、どのような気持ちだろうか？ ②「精一杯がんばらなさい」と言われた千里は、父や母にどのような思いをもって、家を離れたのだろうか。 (終末) 卒業生から家庭を離れた心機から家族を考えた手紙を読み、家族の一員としての自分を考えよう。	(導入) 中伊豆や伊豆市の好きな景色を紹介してください (展開) ①間滝さんは、ボランティアの人々のような姿や気持ちに打たれたのだろうか。 ②伊豆市のまめざくらの植樹活動に携わってどんなことを感じたかな。 (終末) GTの話を聞く まめざくら保存会の方々の話を聞いて、自分たちができる自然保護にはどんなものがあるか考えよう。	(導入) 世界遺産に認定された反射炉について知っていることは？ (展開) ①「アイアンバンドってしていますか？」と聞かれた主人公の驚きの原因はなんだったのだろうか。 ②反射炉ガイドとなった主人公の生き方をどう思うか。 (終末) GTの話を聞く ジオパークの歴史と産業、文化を、未来のために保存し紹介する方々の話を聞いて、自分の郷土について考えてみよう。	(導入) この写真を見たことがありますか？(震災の海外ボランティア) (展開) ①国際的規模での助け合いのためには、大切なことは何だろうか？ ②自分にできることは？GTの話を聞く (終末) 思ったことや考えたことを書く。	(導入) 働くときに大切にしたいこと？ (展開) ①仕事に対しては「少しわかりかた」ことは、どのようなことだろうか？ ②「働く」ことでどんなものが得られるのだろうか？ (終末) 「働く」ということは生きることだ」という言葉がある。どういう意味だととらえるか？	(導入) よく考えずに友人のためによかれと思っただけの行動が、友人にとって逆に迷惑になってしまった経験はないだろうか。 (展開) ①元さんは、上層部に処分されたが、動物園の規則に問題はあるのだろうか？ ②道徳上の問題と考えるのはなぜだろうか？ (終末) 規則と私たちが生きる社会について考えを書こう	(導入) 命について、どんなことを思っていますか？ (展開) ①残された娘たちは、どんなことをかんがえたのだろうか。 ②これまで、生命が一人だけのものではないと感じたことはありますか。 (終末) 家族からの手紙を読み、授業を振り返って命について考えたことを書いてみよう。
評価	今までの自分を振り返るとともに、自分の役割を果たしていくことの意味を感じ取ることができたか。	自分の家族への思いを再確認するとともに、これから家族の一員としてどうすべきかを考えることができたか。	自然を愛し、自然とのつながりを見いだして、ともに生きようとすることの大切さ自分なりに発展させていく思いがもてたか。	郷土の歴史には、先人の努力によって築かれ守られてきた自然や文化への尊敬や感謝の気持ちをもつことができたか。	世界の中の日本人として世界の平和や幸福に貢献することの大切さや国際人としての生きようとする意欲がもてたか。	働くことの意味に気づき、そのことについて自分の考えをもち、これからの自分が生かそうと考えることができたか。	法や規則の意義を理解し、遵守することについて自分の考えをもつことができたか。	生命を尊重し、生命を大切にしていく重要性を自分なりに考えることができたか。
他の教育活動との連携	学校祭体育の部・文化の部・音楽「校歌」	ノーメディアディ(ゲーム携帯から離れ親子で会話推進のPTA活動)	伊豆市まめざくらの中伊豆中植樹活動・音楽「ふるさと」	総合的な時間ジオパーク見学・理科「イオン」地殻の変動」社会科歴史	美術「ゲルニカ鑑賞」総合的な時間オリンピック・パリンピック学習	社会公民、進路説明会、体験入学、職業体験学習	社会公民・道徳	国語黒い雨 社会「世界大戦」理科「遺伝の規則性と遺伝子」英語・思春期講座・技術家庭「保育体験」道徳「思いやり」【家庭科】
その他(GT活用等)	後輩からのありがとうメッセージの掲示 縦割り学級	卒業生からの手紙	伊豆市豆桜の会の皆さんに、保存活動についてお話を伺う	ジオガイド、反射炉ガイドの皆さんのインタビューを紹介する	ALT、行政職員オリンピック課職員に、世界の中で生きることについてお話を伺う。			保護者の手紙